

委員会審議

産業建設委員会

平成31年度一般会計予算

●LIMEX(ライメックス)を使用した家庭ごみのポスター作成事業

問 LIMEXは、紙の代替となる環境負荷の低い新素材である。その特性は、水に強く丈夫なことであり、毎年交換するポスターには向いていないのではないか。

答 LIMEXはまだ知名度が低いため、市民への周知と、回収から再加工までの仕組みを構築することを重要視している。将来的には、地域モデルとして鯖江市から発信できるような事業としたい。

●さばえブランド菜花米支援事業

問 この事業の目的と今後の方向性は。

答 鯖江ならではの農産物を目指す取組であり、特別栽培米を推進する上でも、行政の後押しが必要と考えている。

支援の結果、食味値も向上し、評価も上がってきている。継続して支援し、さばえ菜花米のブランド名を確立したい。

意見 長年取り組んでいる事業である。市が支援をやめた時に、作付け者がいなくなるようではいけない。生産者が、継続した支援に慣れてしまうことなく、将来的には自立した経営ができるようにしてほ

しい。

●さばえものづくり博覧会開催事業

問 出展企業が減っていることについて、どう考えているか。

答 ものづくり博覧会は、来年度で8回目となり、マンネリ傾向にあることも否定できない。博覧会開催前の10月中旬頃には、河和田地区で産業観光イベントRENEWが開催されており、そちらへ出展が向いていることも要因の一つと捉えている。

問 例年の予算額が一定だが、この額では少ないのではないかと。更に費用をかけ、商工会議所と連携して、地場産業を活性化するような取組は考えていないか。

答 実行委員会において、次回のものづくり博覧会の事業内容の再構築を検討している。今後開催する中で、予算が不足する場合には、相談したい。



ものづくり博覧会の開会式の様子

教育民生委員会

平成30年度一般会計補正予算

●小学校施設整備費

問 通学路での民地のブロック塀等危険箇所について、昨年実施した点検の対応は。

答 各小中学校においてブロック塀等所有者へ改善をお願いした。緊急危険箇所については、通学路の変更を行った。

平成31年度一般会計予算

●高齢者福祉費

問 老人クラブのクラブ数・会員数の減少に対する根本的な対策は。また、年々増えるサロンとの融合は。

答 今年度から、老人クラブ加入の保険に対しサロンと同額程度の助成を行うこととした。それぞれの地区で温度差はあるものの、市がお互いの橋渡しを行い、話し合いにより融合が図れるよう努めたい。

●地域密着型サービス施設整備等事業費補助金

問 第7期介護保険事業計画において、市内に地域密着型特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所を各1カ所

整備するとの説明だが、これらの整備により市内の介護施設への入所待機者は解消されるのか。

答 平成30年4月1日現在の待機者は48名で、これら施設の整備により、おおむね解消されると見込んでいる。

●保育所費

問 新規事業のうち、待機児童解消や若い保育士の職場環境整備など、保育分野の重点施策は。

答 まず待機児童の解消策として、保育士の人材確保のため、県の社会福祉協議会に次いで、県内市町で初めて保育士修学資金貸付金事業を創設した。また、退職した保育士による保育指導者巡回事業を新たに実施し、若い保育士の定着を図りたい。

●奨学資金貸与基金繰出金

意見 令和2年度から奨学資金一部償還免除制度が創設されることは評価する。更なる制度の充実を要望する。

施設整備予定地視察の様子

